

後期計画の方向性と目指す姿

地域産業の育成と支援

■雇用・労働

5年間の方向性



国や北海道で実施している雇用対策メニューを最大限に活用しながら、継続した雇用が生まれるよう、積極的な推進を図ります。

5年後の目指す姿

産業の発展を支えるさまざまな担い手が育成され、雇用の受け皿も増えるなど、市内の雇用が安定してきています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
生産年齢人口に対する就業人口の割合	76.3%	72.0%	→ (76.3%)

■地場産品・水産加工

5年間の方向性



地域資源を活用した地域ブランドの発掘を支援していきます。

5年後の目指す姿

地元資源を活用し、消費者ニーズにマッチした地域ブランドが育ってきています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
地域産業への育成や支援に対する満足度	6.9%	47.1%	47.1%

都市機能の充実

■道路・橋りょう



5年間の方向性

道路整備は、市民の皆さんの安心安全に配慮し、幹線道路の計画的整備、損傷の著しい生活道路の改築を優先的に行っていきます。

5年後の目指す姿

幹線道路の整備が計画的に進むとともに、生活道路の補修が適切に行われ、道路機能を維持しています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
まちの機能に対する満足度	5.5%	5.3%	15.0%

地域コミュニティの育成と支援

■町内会

5年間の方向性



町内会と行政が役割を明確にして、協働のもと地域活動が推進されるような環境づくりに努めていきます。

5年後の目指す姿

町内会が自治の担い手として確立し、地域の課題を自らの知恵や行動により解決に向け前進しています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
地域コミュニティの育成や支援に対する満足度	17.4%	17.0%	34.0%

連載特集

第5次留萌市総合計画基本計画

後期計画の方向性と目指す姿



市では、今年4月から始まる第5次留萌市総合計画基本計画の後期計画（平成24年度から28年度まで）を策定しました。

今月号では、2月号に掲載しました前期計画（平成19年度から23年度まで）の検証を受けて、後期計画がどのように展開されていくのかをご紹介します。

前期計画の検証を踏まえ 後期計画を策定

第5次留萌市総合計画（平成19年度～28年度）は、市の将来のビジョンを描き、その実現に向けてまちづくりの方向性などを総合的にまとめたものです。

基本計画は、「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」の実現に向けて、市の取り組みの方向性を体系的に示し、総合的な施策の展開を図るために策定されたもので、前期5年が平成23年度で終了するため、取り組み結果と達成度を踏まえ現状と課題を整理し、今後5年間の方向性を定め、どのような姿を目指していくのかを多くの市民の皆さんの意見をいただきながら、後期計画としてまとめました。

施策における 目標値を設定

基本計画では、5年後の目指す姿に到達しているかを客観的に評価するため、施策における目標値を設定しています。

基準値は、総合計画の基本構想を作った平成18年、現状値は前期

計画の最終年である平成23年の数値で、後期目標値は、平成28年の目標値となっています。

進行管理を行い 重点分野を検討

各所管が実施する事務事業評価において、実施計画に掲げた事務事業が施策の目的や目標達成のための手段として適正かなどの視点で毎年度検証する中で、事務事業の見直し、現状と目標との乖離状況の分析により、政策担当課における施策評価により計画の一括進行管理を行い、次年度以降の重点分野の検討に繋がっていきます。

平成24年度の重点的な 取り組み10項目を紹介

次ページから後期計画のうち、10項目の戦略プログラムとそれに基づく11の施策を紹介しています。計画の全容は、市ホームページ（<http://www.ermoi.jp/>）に掲載されていますので、ご覧ください。

お問い合わせ先
市・政策調整課 ☎42・1809

災害に強い地域づくり

■防災



5年間の方向性

東日本大震災の教訓を活かし、津波ハザードマップや津波避難所の整備など、津波対策の強化を図っていくほか、「自主防災組織」の設置及び育成を図り、共助による地域の防災力の向上を図っていきます。

5年後の目指す姿

災害時の被害縮小に向けた地域の助け合いの精神（向こう三軒両隣）が浸透し、日常的に防災訓練が実施され、市民の皆さんが安心して安全な暮らしをしています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
町内会における自主防災組織の組織数	6件	32件	140件

子どもの育成と支援

■子ども未来・少子化対策



5年間の方向性

るもい次世代育成支援行動計画後期計画に基づき、家庭・学校・地域・行政が一体となって、子どもたちの健全な成長を願い、子どもたちが育ちやすい環境、子育てしやすい環境づくりを目指します。

5年後の目指す姿

子どもたちが家庭で温かく見守られ、地域から祝福され、さらには親が出産や子育て、仕事に楽しみを持ちながら安心して生活し、地域で助け合うまちになっています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
子育てしやすいまちと感じる市民の割合	24.6%	17.1%	40.0%

学校教育の充実

■学校給食



5年間の方向性

栄養バランスに配慮した給食の提供に努め、地産地消を推進し、地元食材の利用に努めていきます。また、望ましい食習慣が身に付けられるよう、「食の指導」に努めていきます。

5年後の目指す姿

地元食材を多く取り入れた学校給食が提供され、児童生徒の成長を育んでいます。また、食の大切さを学び、望ましい食習慣を身に付けた児童生徒が増えています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
栄養バランスを視点とした学校給食メニューに対する満足度	48.2%	38.8%	43.0%

健康の維持と増進

■健康・保健予防



5年間の方向性

市民の皆さんが健康づくりに興味を持って取り組んでいただくための環境整備を図っていきます。

5年後の目指す姿

市民の皆さんの健康意識が高まり、予防や健康づくりに積極的に取り組む方が増えています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
健康管理に気をつけている市民の割合	87.4%	57.4%	89.0%

安心できる地域医療の充実

■地域医療



5年間の方向性

医療機関の連携により、医療サービスを効率的、継続的に提供し、生活の質が向上するよう連携体制の構築に取り組んでいきます。

5年後の目指す姿

救急、小児、周産期の医療体制が整い、市民の皆さんがいつでも適切な医療を受けることができ、安心感が高まってきています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
地域医療に対する満足度	10.6%	22.7%	60.0%

地域福祉の充実

■高齢者



5年間の方向性

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるため、身近な地域の人々との交流を進めていきます。

5年後の目指す姿

高齢者自身が経験や知識を活かし社会参加するなど、いきいきと生活している方が増えています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
高齢者や障がい者がいきがいをもって暮らしていると感じる市民の割合	25.8%	11.6%	25.0%

市民生活の基盤づくり

■ごみ・一般廃棄物



5年間の方向性

新たな分別及び収集体制を整備するとともに、資源の再利用・再資源化による有効利用を図っていきます。

5年後の目指す姿

資源の再利用・再資源化による有効活用が進み、市民の皆さんのリサイクル意識がさらに高まっています。

指標名	基準値	現状値	後期目標値
ごみの減量とリサイクルに対する満足度	46.1%	41.2%	64.0%